

平成22年度 第4回神林地区地域審議会 議事録

1. 開催日時 平成23年2月8日(火) 13:30～15:13
2. 開催場所 神林支所 3階第4・5会議室
3. 出席委員 大嶋芳美、石田フミ、近 秀一、鈴木誠兒、小野 篤、
小田美千子、渡辺優子、三浦公平、小池知恵蔵、横山一巳
4. 欠席委員 岩浅 孝、岸 愛子
5. 出席職員 田村神林支所長
(事務局) 神林支所地域振興課；山田課長代理
6. 傍聴者 なし
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

平成22年度 第4回神林地区地域審議会次第

日 時；平成23年2月8日（火）13:30～
会 場；神林支所3階第4・5会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 審 議

(1)「神林地区地域まちづくり協議会設置に向けての意見」文書の作成について

4 その他

5 閉 会

会 議 経 過

1 開会 (13:30)

事務局； みなさま方におかれましては、お忙しい中、第4回神林地区地域審議会にご出席いただき誠にありがとうございます。

本日、岩浅委員より欠席の連絡を受けておりますのでご報告いたします。岸委員については、まだいらしておりませんが、定刻になりましたので第4回神林地区地域審議会を開催させていただきます。

2 会長あいさつ

会 長； みなさんごめんください。当審議会も今年度、第4回目を迎えて今まで私たちが話し合ってきたことについての意見集約を行い、神林地区地域まちづくり協議会設置に向けての意見ということでまとめていきたいと考えておりますので、みなさんから忌たんのないご意見をお願いいたします。

3 審 議

(1) 「神林地区地域まちづくり協議会設置に向けての意見」文書の作成について

事務局； 「神林地区地域まちづくり協議会設置に向けての意見」について、文書の作成をお願いしたいと思います。

文書として作成しますが、意見書という形ではなく、あくまでも来年度から始まります地域まちづくり協議会を作るにあたっての基本的事項をまとめた形の文書ということで捉えていただきたいと思います。

【資料に沿って説明】

会 長； みなさんからご意見をいただく前に本日配付しました「神林地区における地域まちづくり推進への提案」ということで委員から提出されておりますので、これについて提案された委員より説明をお願いします。

委 員； 本日の提案について、みなさまからご賛同いただけるのであれば、まとめのその他のところでも良いので一筆加えさせていただければということで提案書を作成いたしました。

【資料に沿って説明】

会 長； ご意見、ご質問がありましたらお願いします。

委 員； 別紙2の2番のところに「財政支援を考えている」とありますが、財政支援だけでなく、人材支援も行うと付け加えていただきたい。

事務局； 平成23年度から機構改革で神林支所自治振興室に五人配置される予定にはなっております。職員を1地区に一人張り付けるという考えもありますが、必ずしもそういった体制になるということではございません。たまたま5地区で五人ということになってはいますが、まだ決定されておられませんので誤解のないようにお願いします。

委 員； 形はどうあれ、人材支援も行うということで加えていただきたいと思います。

事務局； 人材支援の文言が記載されておられませんので、別紙2の2番のところに

組み込んだ形でまとめていきたいと思います。

会 長； 村上地区には分館が現在も残って、専門の職員が張り付いていますが、ほかの地区は一つにまとめた経緯があり、その辺で差があるように思います。

人材支援を行う際は、そういった地区のバランスも考慮して考えていただきたいと思います。

事務局； 村上地区のように、公民館分館の職員が公民館事業をまかなうというようなイメージではありません。

協働のまちづくりは公民館事業ばかりではなく、観光や集落事業などいろいろな分野がありますので、村上地区の分館のイメージとは異なると思います。各地区で協議会の数も違ってくるかと思しますので、今後、各地区で具体的な協議が必要になってくると思います。

委 員； 一生懸命やっているボランティア団体がいくつもあります、内容が重複しているものもあるので、その辺を一つに出来ないものかと思えます。

希楽々の活動を見ると、一生懸命やっているなど感心しています。希楽々からの提案を見ると、私たちが今までこのようなことを話し合ってきたと思いますが、文書や言葉にして表現するのが難しかったです。

この提案には非常に共感しますが、核となるものがなければ前に進むことは難しいと思います。希楽々を核として行うことは、大変ありがたいと思う反面、協働のまちづくりの基礎となる、住民の力で何かをしようという意識はどのようになるのかという疑問もあります。

委 員； 希楽々事業には職員だけではなく、たくさんの住民の方が関わっています。最初は参加者でしたが、企画する側になり参画意識が芽生えてきています。参画意識を持つことが協働の第一歩かと思えます。

希楽々事業も、たくさんの方が関わって、作っているということをご理解いただきたいと思います。そういった場所があるということで、関わりやすいと思います。

新たに組織を作るよりは、すでに動いているので、いろいろな人が関わって作っていくことが、形だけではない本当のまちづくりかと思えます。

委 員； 私は集落の区長をやっておりますので、今年の総会で集落のみなさんに市民協働のまちづくりについて説明しました。

まず集落が元気を出し、その力を協働のまちづくりに発展させていきたい。地域の茶の間や伝統芸能など、今まで行ってきた活動も取り組みの一つです。神林地区は小学校区単位でまちづくりを行う。具体的なものは6月ころに示され、集落区長や役員に対して説明があり、市からの支援は、財政支援と人的支援があるというような内容を皆さんに説明しました。

まだまだ何をやるか先が見えてこない状況ではありますが、希楽々という組織がありますので、別紙2の3番その他のところに、既存組織の活用も重要であるというようなことを盛り込んでほしいと思います。

会 長； この事業はなかなか時間のかかる事業だと思います。

夢を語る場をたくさん設けて、意見が出尽くすまで時間をかけても良いと思

ます。嘆いてばかりではしょうがないと思います。

現在ある組織で、対応出来るところは対応していかなければならないと思いますし、5地区に分けてはいますが、地区全体では取り組みが難しい場合などは各集落で事業を行って、それに対して補助するような手法もあるかと思います。

やはり根気よく話し合っていくことが大切だと思います。話し合いとなると改まったり、肩肘張ってしまったりとやりにくい面もあるかと思いますが、ざっくばらんに話し合える場と機会が必要だと思います。

委員； 集落の予算に活性化のための予算を組み、各種団体を集め要望を聞きながら活性化事業を行いたいと考えています。これを協働のまちづくりの第一歩として提案していきたいと考えています。

事務局； 先ほど財政支援の話をしました。財政支援を行うのは平成24年度からで、平成23年度に協議会を立ち上げたとしても財政支援はないということを念頭においていただきたいと思います。

希楽々からの提案の中に、予算に左右されない取り組みとありますが、非常に良いことだと思います。予算がなくても出来る取り組みを考え、予算があればさらに充実したものが出来るというような考え方も良いと思います。

委員； この事業が動き出すのは来年の4月からということですか。

事務局； 出来れば平成23年度中に協議会を立ち上げて平成24年度から動き始めたいと考えておりますが、平成23年度にいろいろな話し合いを行い、平成24年度に協議会を立ち上げ、平成25年度から動き出すといったような考え方もあります。

会長； 5地区に分けた時に、地区全体で行う事業がなかなか見つからない場合などは、各集落で行う事業に対して財政支援することは可能ですか。

事務局； 可能だと思います。協議会全体ではなく、集落の事業に対して協議会の予算を配分することは、協議会で話し合えば可能だと思います。

会長； そういった中から一つでも成功例が出てくれば良いと思います。

事務局； これまでの審議会で、みなさんから出された意見もそういった内容が多かったと思います。

希楽々からの提案も大事なことですし、まちづくりの基本だと思いますが、希楽々を中心として進めるとなるとほかの案件も出てきますので、こういった形にするかはみなさんで議論していただきたいと思います。

委員； 希楽々の活動にいろいろな人が参加したり参画したりして、それを地域に浸透させていけるようなつながりが持てれば良いと思います。

会長； 委員がおっしゃったように住民の自主性が重要だと思います。さまざまな活動に対して住民が目を向け、関心を持つことが大切だと思います。

委員； 一人より二人、二人より三人だという発想から、たくさんの方が関わることによって、いろいろなことが出来るという意識を持つことが大切だと思います。

そのきっかけづくりとして、希楽々ではいろいろ行っているのだから参加していただいたり、話を聞いていただいたりすることで意識を高めていければ良いと思います。先ほど委員がおっしゃったように、調整役として希楽々が関わっていければ良いと思います。

委員； 郷育会議も地域の人が参加して取り組むということで立ち上がったと思いますが、なかなか浸透していない。

委員； あれだけボランティアを募集していたが機能していない。組織だけが先行しているように思います。

会長； 先ほど委員からもあったように、重複した事業が多いし、役員になるメンバーが同じです。この状況は避けなければならないと思います。重複した事業は見直して一本化するなどしなければ、役員になる人がたくさん居るわけではないので、だんだん少なくなるばかりです。この辺は考えていかなければならないと思います。

委員； 地域活性化のため、商工会でお幕場茶会を行っていますが、どの程度関心があるものなのか気になります。せっかくの機会ですのでみなさんのご意見をお聞きしたいのですが。

委員； 私は、お幕場茶会前の会場整備にボランティアで毎年参加していますが、合併して市となったので、広く参加してもらえようPRをしたほうが良いと思います。

委員； 今まで商工会が中心となって行ってきましたが、これからは協働のまちづくりが始まるので、協議会と連携するなどしていろいろな人が関わればさまざまな発想で発展的に事業を進めることができるのではないのでしょうか。

委員； 私もお幕場茶会には何回か参加したことがありますが、お茶会となるといい服を着て、作法が分からないと行きづらいというイメージがあるのではないかと思います。

会長； 以前、お幕場茶会を開催している時に、健康ウォーキングを行ったことがありました。イベントを集約して盛り上げていくことも一つの方法だと思います。

委員； 神林地区は何もないところだとよく言われるが、実際は地域を発展させるための策が足りないのかもしれない。

会長； 話し合いの場が多く持たれば、自然と出てくると思います。夢を語る場は必要だと思います。

委員； 地域全体で連携して新たな産業を生み出すことが出来れば良いと思います。作るだけは作るが、それに付加価値がついていないのが現状です。

会長； 各委員からいろいろなご意見をいただきありがとうございます。別紙2に戻りまして、2番のところに「人材支援」という文言を加えるということよろしいでしょうか。

一同； 異議なし。

会長； 同じく別紙2の3番のところに「総合型地域スポーツクラブ希楽々との連携」という文言を加えたいと思いますがよろしいでしょうか。

一同； 異議なし。

事務局； それでは、別紙2の2番、3番のところに今ほどの文言を追加いたします。

4 その他

事務局； 今ほどまとめていただきました意見を基に、協議会設立に向けて進めていきます。

いと思います。

会 長； 本日は、長時間にわたりご審議いただきありがとうございました。今後、協議会が立ち上がることになれば、役員の選出方法など、より具体的な話になってくると思いますので、これからもみなさまからご意見を賜り、地域発展のためにご協力をお願いします。ありがとうございました。

5 閉会（15:13）